

# Kofax TotalAgility

レポート テーブル

バージョン: 7.10.0

日付: 2021-12-12

**KOFAX**

© 2021 Kofax. All rights reserved.

Kofax is a trademark of Kofax, Inc., registered in the U.S. and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners. No part of this publication may be reproduced, stored, or transmitted in any form without the prior written permission of Kofax.

# 目次

序文.....	5
関連ドキュメント.....	5
トレーニング.....	6
Kofax 製品のヘルプの入手.....	6
<b>第 1 章: デイメンション テーブル.....</b>	<b>8</b>
事前定義されたコンテンツを含むデイメンション テーブル.....	8
date_dim.....	8
time_dim.....	8
field_recog_status_dim.....	9
object_action_dim.....	10
admin_context_dim.....	10
product_dim.....	10
ETL エージェントによって維持されるデイメンション テーブル.....	11
batch_class_dim.....	11
station_dim.....	11
mod_dim.....	12
user_dim.....	12
machine_dim.....	13
doc_class_dim.....	13
group_value_dim.....	13
form_type_dim.....	13
tsf_class_dim.....	14
reject_note_dim.....	14
field_dim.....	15
batch_dim.....	15
doc_dim.....	16
page_dim.....	19
ta_categories_dim.....	21
ta_classif_group_dim.....	21
field_column_dim.....	22
path_dim.....	22
event_data_dim.....	23
<b>第 2 章: ファクト テーブル.....</b>	<b>24</b>
セッション スナップショット テーブル.....	24

batch_sess_snapshot_fact.....	24
doc_sess_snapshot_fact.....	28
累積ファクト テーブル.....	30
batch_accum_fact.....	30
doc_accum_fact.....	31
field_accum_fact.....	32
その他のファクト テーブル.....	34
batch_field_fact.....	34
object_audit_fact.....	35
field_changes_fact.....	36

# 序文

このガイドでは、Kofax レポート データ ウェアハウスのディメンション テーブルとファクト テーブルについて説明します。これらのテーブルには、Kofax TotalAgility のキャプチャ クライアント アクティビティに関連する情報が格納されています。

データベース ロール kfx\_advanced\_reader を持つユーザーは読み取りアクセス権のみを保持しますが、データベース ロール kfx\_etl を持つユーザーは、これらのテーブルに対する書き込みアクセス権を保持します。データベースのすべての日時の値は、UTC タイム ゾーンに基づいています。

❗ これらは、直接の読み取り専用アクセスが許可されている唯一のデータベース テーブルです。レポート テーブルのリストは、次の場所にあります。

```
<Kofax TotalAgility Installation Folder>\Reporting  
\KofaxTotalAgilityReportingTables_EN.pdf
```

## 関連ドキュメント

Kofax TotalAgility のドキュメント セット一式は[製品ドキュメント ページ](#)から入手できます。

このガイドのほか、ドキュメント セットには次の項目が含まれています。

- *Kofax TotalAgility* 前提条件ガイド: TotalAgility をインストールするためのシステム要件、前提条件ユーティリティの実行手順、さまざまなインストール タイプに応じたソフトウェア チェックリストが含まれています。
- *Kofax TotalAgility* インストール ガイド: TotalAgility のインストールおよび構成方法について説明します。
- *Kofax TotalAgility* 統合サーバー インストール ガイド: Kofax 統合サーバーをインストールし、他の製品と統合する方法について説明します。
- *Kofax TotalAgility* オンプレミス マルチテナント インストール ガイド: オンプレミス マルチテナントシステムのインストールおよび構成方法について説明します。
- *Kofax TotalAgility* 構成ユーティリティ ガイド: 構成ユーティリティを使用して、さまざまなタイプのインストールおよび展開の各種構成ファイルの設定を更新する方法について説明します。
- *Kofax TotalAgility* 管理者ガイド: TotalAgility インストールの構成および保守に関する情報を管理者に提供します。
- *Kofax TotalAgility* アーキテクチャ ガイド: オンプレミス、オンプレミス マルチテナンシー、および Azure 環境へのさまざまな展開を含む、TotalAgility アーキテクチャの概要について説明します。

- Kofax TotalAgility ベスト プラクティス ガイド: TotalAgility を使用してパフォーマンス、コスト、メンテナンス、可用性、およびセキュリティを改善する場合に従う必要があるベスト プラクティスについて説明します。
- *Kofax TotalAgility* 機能ガイド: TotalAgility の機能の概要を示します。
- *Kofax TotalAgility* 移行ガイド: 異なるバージョンからの TotalAgility のアップグレードおよびアップグレード後の構成に関する情報を提供します。
- *Kofax TotalAgility* のヘルプ: TotalAgility を使用した、ビジネス ジョブとケースの設計、リソースの割り当て、フォームの作成、外部アプリケーションとの統合などに関する詳細を提供します。TotalAgility アプリケーションからヘルプにアクセスするには、[ヘルプ] ボタンをクリックします。
- *Kofax TotalAgility Workspace* のヘルプ: Workspace を使用してアクティビティ、ジョブ、およびリソースを管理する方法について説明します。[ヘルプ] ボタンをクリックして、TotalAgility Workspace からヘルプにアクセスします。
- Kofax TotalAgility オンプレミス マルチテナント システムのヘルプ: TotalAgility オンプレミス マルチテナント システムを使用してテナントを作成および管理する方法について説明します。
- *Kofax TotalAgility Web Capture* コントロールのヘルプ: Web Capture コントロールを使用した、複数ページのドキュメントの作成、新しいフォルダでの新しいドキュメントの作成、誤ってスキャンされたページの削除などに関する詳細を提供します。また、Web Capture コントロール ツールバーで使用可能なボタンについても説明します。
- *Kofax Analytics for TotalAgility* 製品機能ガイド: ワークフローを通過するデータの追跡、プロセスとリソースの有効性の分析、ビジネス上の問題への対処に役立つダッシュボードの概要について説明します。
- *Kofax TotalAgility* のテーブル: Kofax Analytics for TotalAgility で使用されている Kofax TotalAgility のテーブルおよびフィールドについて説明します。
- Kofax 製品からの移行ガイド: TotalAgility ファイルと Kofax Transformation Modules のプロジェクトを TotalAgility に移行する手順の情報を示します。

## トレーニング

Kofax は、製品を最大限に活用するために役立つクラスルーム トレーニングおよびオンライン トレーニングを提供しています。トレーニング コースとスケジュールの詳細については、Kofax の Web サイトにある [Kofax Education Portal](#) (Kofax エデュケーション ポータル) にアクセスしてください。

## Kofax 製品のヘルプの入手

[[Kofax Knowledge Base \(Kofax ナレッジベース\)](#)] リポジトリにある記事の内容は定期的に更新され、Kofax 製品の最新情報について参照できます。製品に関してご不明の点がある場合は、ナレッジベースで情報を検索することをお勧めします。

[[Kofax Knowledge Base \(Kofax ナレッジベース\)](#)] の参照:

1. [Kofax Web サイト](#) にアクセスして、ホームページで [サポート] を選択してください。
2. [サポート] ページが表示されたら、[カスタマーサポート] > [ナレッジベース] を選択してください。

**i** [Kofax Knowledge Base (Kofax ナレッジベース)] は Google Chrome、Mozilla Firefox または Microsoft Edge 向けに最適化されています。

[Kofax Knowledge Base (Kofax ナレッジベース)] は以下の内容を提供します。

- 強力な検索機能で必要な情報をすぐに見つけることができます。

**[Search (検索)]** ボックスに目的の語句を入力し、検索アイコンをクリックしてください。

- 製品情報、設定の詳細、リリース情報などのドキュメント。

[Kofax Knowledge Base (Kofax ナレッジベース)] のホームページをスクロールして、製品ファミリーを見つけます。目的の製品ファミリー名をクリックして、関連記事の一覧を表示します。一部の製品ファミリーの場合は、関連記事を表示するために Kofax Portal (Kofax ポータル) の有効なログイン情報を入力する必要があります。

Knowledge Base (ナレッジベース) のホームページで以下が可能です。

- Kofax Community (Kofax コミュニティ) へのアクセス (全カスタマー)。

ページ上部の **[Community (コミュニティ)]** リンクをクリックしてください。

- Kofax Customer Portal (Kofax カスタマー ポータル) へのアクセス (一部のカスタマーのみ)。

ページ上部の **[Support (サポート)]** リンクをクリックしてください。[Customer & Partner Portals Overview (カスタマーとパートナー ポータル概要)] が表示されたら、**[Log in to the Customer Portal (カスタマー ポータルにログイン)]** をクリックします。

- Kofax Partner Portal (Kofax パートナー ポータル) へのアクセス (一部のパートナーのみ)。

ページ上部の **[Support (サポート)]** リンクをクリックしてください。[Customer & Partner Portals Overview (カスタマーとパートナー ポータル概要)] が表示されたら、**[Log in to the Partner Portal (パートナー ポータルにログイン)]**。

- Kofax サポート コミットメント、ライフサイクル ポリシー、電子フルフィルメントの詳細、セルフサービス ツールへのアクセス。

**[General Support (一般サポート)]** セクションに移動し、**[Support Details (サポートの詳細)]** をクリックし適切なタブを選択します。

## 第 1 章

# ディメンション テーブル

名前が \_dim で終わるテーブルは、ディメンション テーブルです。このようなテーブルは、ドキュメント処理に関係するワークステーションの情報を格納する一種の辞書です。たとえば、Doc\_dim テーブルには、CEBPM アクティビティ中に処理されたドキュメントに関連する、必要なすべてのレポート情報が格納されます。

ディメンション テーブルには、日付、時刻、ユーザー、ステーションなどのカテゴリが保持されます。

Kofax レポート ETL (Extract/Transform/Load) エージェントは、ほとんどのテーブルにコンテンツを提供しますが、テーブルによっては、ドキュメント分類のステータス、時刻、日付などのコンテンツが事前に定義されていることがあります。

## 事前定義されたコンテンツを含むディメンション テーブル

### date\_dim

このテーブルには、カレンダー日付の値が保持されます。ほとんどのファクト テーブルには、このテーブルを参照する 1 つ以上の外部キーが格納されています。




このテーブルには、データベース作成スクリプトによって 2009-01-01 ~ 2015-12-31 の日付値が入力されます。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	date_key	int	4	年 * 10000 + 月 * 100 + 日 例: 2015 年 2 月 22 日の場合は 20150222
	full_date	datetime	8	
	calendar_year	int	4	例: 2015
	month_number_of_year	int	4	1-12
	ym	nvarchar(6)	12	YYYYMM 形式の年と月
	day_number_of_month	int	4	1-31
	etl_job_key	int	4	内部で使用

### time\_dim




このテーブルには、精度が 1 秒の時刻値が保持されます。このテーブルは、データベース作成スクリプトによって入力されます。ほとんどのファクト テーブルはこのテーブルを参照します。



アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	time_key	int	4	時間 * 10000 + 分 * 100 + 秒 例: 12 時 35 分 15 秒の場合は 12003515
	hour_of_day	int	4	0 ~ 23
	min_of_hour	int	4	0 ~ 59
	second_of_min	int	4	0 ~ 59
	hh_mm_ss	nvarchar(8)	16	HH:MM:SS 形式の時間
	full_time	datetime	8	SQL 時間
	etl_job_key	int	4	内部で使用


## field\_recog\_status\_dim

このテーブルには、有効な Kofax Transformation Modules (KTM) フィールド認識ステータスの値が保持されます。フィールド ファクト テーブルおよびさまざまな Transformation 固有のビューは、データベース作成スクリプトによって入力されるこのテーブルを使用します。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	field_recog_status_key	int	4	固定キーの値: 1 = 有効で、正しい 2 = 有効で、正しくない 3 = 拒否済みで、正しい 4 = 拒否済みで、正しくない 5 = 不明 (検証データはまだない)
	field_recog_status_name	nvarchar(255)	510	説明テキスト (「有効で正しい」など)
	valid_corr_num	int	4	ビット フィールドのように使用: 1 = フィールドは有効で、正しい。それ以外の場合は 0
	valid_incorr_num	int	4	ビット フィールドのように使用: 1 = フィールドは有効で、正しくない。それ以外の場合は 0
	invalid_corr_num	int	4	ビット フィールドのように使用: 1 = フィールドは拒否済みで、正しい。それ以外の場合は 0
	invalid_incorr_num	int	4	ビット フィールドのように使用: 1 = フィールドは拒否済みで、正しくない。それ以外の場合は 0
	etl_job_key	int	4	内部で使用

## object\_action\_dim

このテーブルには、バッチ、ドキュメント、およびページに関連する監査アクションの説明テキストが保持されます。このテーブルは、データベース作成スクリプトによって入力されます。アプリケーション開発者が新しい監査アクションを定義する場合は、これらのアクションのレコードをこのテーブルに追加する必要があります。

アイコン	名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
	object_action_key	int	4	事前定義されたアクションの固定キー
	object_action_name	nvarchar(32)	64	監査ビューに表示される、短くてわかりやすい名前
	object_action_descr	nvarchar(255)	510	現在は未使用で、常に空
	etl_job_key	int	4	内部で使用

## admin\_context\_dim

このテーブルには、管理アクションのコンテキストの説明が保持されます。このテーブルには、データベース作成スクリプトによって、事前定義された 5 つのコンテキスト (Generic、BatchClass、User、Customization、KFS) と 1 つの汎用コンテキスト (未設定) が入力されます。

管理監査ファクト テーブルと管理監査ビューは、このディメンションを参照します。


アプリケーション開発者は、新しいコンテキスト値を定義および使用して、このテーブルにレコードを追加できます。

アイコン	名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
	admin_context_key	int	4	一意のキー
	context_text	nvarchar(255)	510	コンテキストの説明

## product\_dim

このテーブルには、統合製品について報告するための製品 ID が保持されます。データベース作成スクリプトによって、Kofax Capture (KC)、Kofax Transformation Modules (KTM)、および Kofax Front Office Server (KFS) 製品のレコードが追加されます。他のいくつかのテーブル (バッチ、バッチ クラス、モジュール、ドキュメント クラスなどに使用) は、このテーブルを参照して、特定のレポートレコードを生成した製品を指定します。

新しい Kofax 製品がレポートと統合されている場合は、対応するレコードをこのテーブルに入力する必要があります。

アイコン	名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
	product_key	int	4	一意の製品 ID




アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	product_text	nvarchar(32)	64	短い製品名 (一意にする必要がある)。 例: KC および KFS
	product_descr	nvarchar(255)	510	ユーザーに表示できる製品の表示名。 例: Kofax Capture および Kofax Transformation Modules

## ETL エージェントによって維持されるディメンション テーブル

このセクションで示されているすべてのディメンション テーブルには、主キーが -1 の追加レコードが保持されています。外部キーの値が -1 の場合は、この情報がまだ不明です。たとえば、バッチがまだエクスポートされていない場合は、export\_date\_key = -1 になります。

### batch\_class\_dim



ETL エージェントは、バッチ処理イベント (バッチ作成、バッチ セッション終了、バッチ編集) 内にバッチ クラスに関する新しい情報が見つかった場合、このテーブルに入力します。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	batch_class_key	int	4	一意のキー
	batch_class	nvarchar(255)	510	バッチ クラス名 IBatchInfo.Class
	batch_class_descr	nvarchar(255)	510	バッチ クラスの説明 IBatchInfo.ClassDescription
	product_key	int	4	product_dim に対する外部キー
	dt_last_change	datetime	8	最終変更日時 (内部で使用)
	etl_job_key	int	4	内部で使用

### station\_dim

このテーブルには、情報を提供した KC (Kofax Capture) ステーションの詳細が保持されます。




このテーブルのナチュラル キーは、ステーション名とサイト ID の組み合わせです。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	station_key	int	4	一意のキー
	station_name	nvarchar(255)	510	ステーション名 ISessionInfo.Station
	site_id	int	4	サイト ID ISessionInfo.SiteId
	station_name_site_id	nvarchar(300)	600	ナチュラル キー (内部で使用)
	site_name	nvarchar(255)	510	サイト名 ISessionInfo.SiteName

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	dt_last_change	datetime	8	最終変更日時 (内部で使用)
	etl_job_key	int	4	内部で使用



## mod\_dim

このテーブルには、情報を提供したモジュールの詳細が保持されます。また、ドキュメントのエクスポートに使用されたエクスポート コネクタのエントリも保持されます。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	mod_key	int	4	一意のキー
	mod_type	int	4	モジュール タイプ 0 = 通常のモジュール 2 = エクスポート コネクタ
	mod_name	nvarchar(255)	510	モジュール名 通常のモジュールの場合: ISessionInfo.ModuleName エクスポート コネクタの場合: API 呼び出し ExportDocument の ExportConnector パラメータ
	mod_id	nvarchar(255)	510	一意のモジュール ID 通常のモジュールの場合: ISessionInfo.ModuleId エクスポート コネクタの場合: API 呼び出し ExportDocument の ExportConnector パラメータ
	mod_id_type	nvarchar(300)	600	ナチュラル キー
	product_key	int	4	product_dim に対する外部キー
	dt_last_change	datetime	8	最終変更タイムスタンプ (内部で使用)
	etl_job_key	int	4	内部で使用

## user\_dim

このテーブルには、バッチ セッションまたは管理セッションで提供されるユーザー情報が保持されません。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	user_key	int	4	一意のキー
	user_logon_name	nvarchar(255)	510	ユーザー ID (ナチュラル キー) ISessionInfo.UserId から取得
	user_fullname	nvarchar(255)	510	ユーザーのフル ネーム ISessionInfo.UserName から取得
	dt_last_change	datetime	8	最終変更タイムスタンプ (内部で使用)

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	user_type	int	4	外部キー user_type_dim
	etl_job_key	int	4	内部で使用
	logon_name_type	nvarchar(300)	600	内部で使用




## machine\_dim

このテーブルには、情報を提供したステーションの識別されたコンピュータ名が保持されます。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	machine_key	int	4	一意のキー
	machine_name	nvarchar(255)	510	コンピュータ名 (ドメインを含む)
	etl_job_key	int	4	内部で使用




## doc\_class\_dim

ETL エージェントは、バッチ終了イベントで新しいドキュメント クラス名を検出した場合、このテーブルにレコードを追加します。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	doc_class_key	int	4	一意のキー
	doc_class	varchar(255)	510	ドキュメント クラス名 IDocument.Class
	product_key	int	4	product_dim に対する外部キー
	etl_job_key	int	4	内部で使用




## group\_value\_dim

ETL エージェントは、バッチ終了イベントで新しい KTM グループ値を検出した場合、このテーブルにレコードを追加します。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	group_value_key	int	4	一意のキー
	group_value	varchar(255)	510	KTM グループ値 IDocument.GroupValue
	etl_job_key	int	4	内部で使用





## form\_type\_dim

ETL エージェントは、バッチ終了イベントで新しいフォーム タイプ名を検出した場合、このテーブルにレコードを追加します。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	form_type_key	int	4	一意のキー
	form_type	nvarchar(255)	510	フォーム タイプ IDocument.FormType
	product_key	int	4	product_dim に対する外部キー
	etl_job_key	int	4	内部で使用




## tsf\_class\_dim

ETL エージェントは、バッチ終了イベントで新しい KTM クラス名を検出した場合、このテーブルにレコードを追加します。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	tsf_class_key	int	4	一意のキー
	tsf_class	nvarchar(255)	510	KTM クラス名 IDocument.TransformationClass
	ta_document_type_id	nvarchar(255)	510	TotalAgility ドキュメント タイプの ID
	ta_document_group_name	nvarchar(255)	510	TotalAgility ドキュメント タイプの名前
	ta_document_group_version	nvarchar(255)	510	TotalAgility ドキュメント グループのバージョン
	ta_document_group_id	nvarchar(255)	510	TotalAgility ドキュメント グループの ID
	ta_document_group_cat_key	bigint	510	ドキュメント グループのカテゴリを参照します。
	class_group_version	nvarchar(768)	1536	内部で使用
	product_key	int	4	product_dim に対する外部キー
	dt_last_change	datetime		このレコードの最終変更時刻。
	etl_job_key	int	4	内部で使用




## reject\_note\_dim

ETL エージェントは、ドキュメント拒否イベントまたはページ拒否イベントで新しい拒否メモ テキストを検出した場合、このテーブルにレコードを追加します。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	reject_note_key	int	4	一意のキー
	reject_note	nvarchar(255)	510	拒否メモ RejectDocument または RejectPage 呼び出しの RejectNote パラメータ
	etl_job_key	int	4	内部で使用

## field\_dim


このテーブルには、既知のすべてのインデックス フィールドとバッチ フィールドの名前が保持されます。ETL エージェントは、インデックス フィールドまたはバッチ フィールドの情報を含むバッチ終了イベントを処理するときに、このテーブルを更新します。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	field_key	int	4	一意のキー
	field_name	nvarchar(255)	510	フィールド名 IField.Name または IBatchField.Name
	etl_job_key	int	4	内部で使用

## batch\_dim

ETL エージェントは、バッチに関する新しい情報を受信したときに、このテーブルを更新します。更新されるのは、バッチが作成された場合、バッチ セッションを開いた場合や閉じた場合、またはバッチ編集アクションを実行しているときなどです。

API によって報告される各アクションのタイムスタンプにより、最新情報であることが保証されます。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	batch_key	bigint	8	一意の内部キー
	batch_name	nvarchar(255)	510	IBatchInfo.Name のバッチ名
	batch_id	nvarchar(255)	510	IBatchInfo.Id の一意なバッチ ID
	product_key	int	4	product_dim に対する外部キー
	create_date_key	int	4	バッチ作成日 date_dim に対する外部キー
	create_time_key	int	4	バッチ作成時間 time_dim に対する外部キー
	export_date_key	int	4	エクスポート モジュールがバッチを終了し、ステータスが削除済みになった時点のバッチ エクスポート日。 date_dim に対する外部キー
	export_time_key	int	4	バッチ エクスポート時刻 time_dim に対する外部キー
	delete_date_key	int	4	モジュールがバッチを終了し、ステータスが削除済みになった時点のバッチ削除日。 date_dim に対する外部キー
	delete_time_key	int	4	バッチ削除時刻 time_dim に対する外部キー



アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	last_proc_date_key	int	4	最終処理日 date_dim に対する外部キー
	last_proc_time_key	int	4	最終処理時刻 time_dim に対する外部キー
	create_station_key	int	4	バッチ作成情報を提供したステーション。 station_dim に対する外部キー
	create_user_key	int	4	バッチ作成イベントのユーザー。 user_dim に対する外部キー
	last_proc_station_key	int	4	バッチに関する最新情報を提供したステーション。 station_dim に対する外部キー
	last_proc_user_key	int	4	最終バッチ関連情報のユーザー。 user_dim に対する外部キー
	last_proc_mod_key	int	4	最終バッチ関連情報のモジュール。 mod_dim に対する外部キー
	dt_last_proc_datetime	datetime	8	最終処理日時 (内部で使用)
	next_mod_key	int	4	未使用、入力なし
	batch_state	int	4	バッチ ステータス (バッチ セッション終了イベントから取得)
	batch_class_key	int	4	バッチ クラス batch_class_dim に対する外部キー
	batch_priority	int	4	IBatchInfo.Priority のバッチ優先度
	batch_descr	nvarchar(255)	510	IBatchInfo.Description のバッチの説明
	is_exported	bit	1	バッチがエクスポートされた場合は 1
	is_deleted	bit	1	バッチが削除された場合は 1
	etl_job_key	int	4	内部で使用

## doc\_dim


このテーブルには、個々のドキュメントの最新の既知のステータスが保持されます。このステータスは、ETL エージェントがバッチ終了イベントおよびドキュメント関連のバッチ編集アクションを処理するときに更新されます。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	doc_key	bigint	8	一意のキー




アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	doc_id	nvarchar(255)	510	IDocument.Id のナチュラル キー、および IEdit 呼び出し内のドキュメント ID パラメータ。
	initial_doc_id	nvarchar(255)	510	このドキュメントが外部システム (別の Kofax 製品) からのエクスポートによって生成されている場合、original_doc_id は元のシステム内のドキュメントの ID に設定されます。 ドキュメントの存続期間が複数の製品にまたがる場合は、このフィールドを使用してドキュメントの履歴をトラッキングできません。
	initial_doc_class_key	int	4	分類セッションのドキュメント クラス。 doc_class_dim に対する外部キー
	doc_class_key	int	4	最新の既知のドキュメント クラス IDocument.Class。 doc_class_dim に対する外部キー
	initial_tsf_class	int	4	自動認識された KTM クラス。 分類セッションの IDocument.TransformationClass tsf_class_dim に対する外部キー
	tsf_class	int	4	ドキュメント レビュー後の KTM クラス。 ドキュメント レビュー セッションの IDocument.TransformationClass。 tsf_class_dim に対する外部キー
	form_type_key	int	4	最新の既知のフォーム タイプ IDocument.FormType。 form_type_dim に対する外部キー
	is_exported	bit	1	ドキュメントが完全にエクスポートされたバッチの一部であった場合は、エクスポートセッションの終了時に True に設定します。
	is_processing_completed	bit	1	ドキュメントが属するバッチが完了とマークされている場合は、True に設定します。
	is_aggr	bit	1	ETL エージェントが内部で使用
	group_value_key	int	4	最新の既知の KTM グループ値 IDocument.GroupValue。 group_value_dim に対する外部キー
	create_date_key	int	4	ドキュメントが作成された日付 (IEdit.CreateDocument, IEdit.SplitDocument を使用)。 date_dim に対する外部キー
	create_time_key	int	4	ドキュメント作成日時。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	dt_create_datetime	datetime	8	内部で使用
	export_date_key	int	4	ドキュメントが最後にエクスポートされた日付 ( IEdit.ExportDocument を使用)。 date_dim に対する外部キー
	export_time_key	int	4	ドキュメントが最後にエクスポートされた時刻。 time_dim に対する外部キー
	last_proc_date_key	int	4	前回入手可能だったドキュメント関連情報の日付。 date_dim に対する外部キー
	last_proc_time_key	int	4	前回入手可能だったドキュメント関連情報の時刻。 time_dim に対する外部キー
	dt_last_proc_datetime	datetime	8	内部で使用
	last_proc_station_key	int	4	このドキュメントを最後に処理したステーションを参照します。 station_dim に対する外部キー
	last_proc_user_key	int	4	このドキュメントを最後に処理したユーザーを参照します。 user_dim に対する外部キー
	classified_date_key	int	4	最後の分類セッションバッチ終了イベントの日付。 date_dim に対する外部キー
	classified_time_key	int	4	最後の分類セッションバッチ終了イベントの時刻。 time_dim に対する外部キー
	dt_last_class_datetime	datetime	8	内部で使用
	reviewed_date_key	int	4	最後の KTM ドキュメントレビューセッションバッチ終了イベントの日付。 date_dim に対する外部キー
	reviewed_time_key	int	4	最後の KTM ドキュメントレビューセッションバッチ終了イベントの時刻。 time_dim に対する外部キー
	dt_last_review_datetime	datetime	8	内部で使用
	review_user_key	int	4	最後の KTM ドキュメントレビューセッションのユーザー。 user_dim に対する外部キー
	product_key	int	4	product_dim に対する外部キー
	etl_job_key	int	4	内部で使用


アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	path_key	bigint	8	テーブル path_dim の一意の内部キー
	in_root_folder_position	int	4	ルート フォルダを基準として、最初のドキュメントからカウントしたドキュメントの番号。
	in_sub_folder_position	int	4	最も近いサブフォルダを基準として、最初のドキュメントからカウントしたドキュメントの番号。
	display_name	nvarchar(255)	510	IEdit 呼び出し内の IDocument.DisplayName パラメータから最後に計算された、既知のドキュメント表示名。
	is_sys_classified	bit		ドキュメントがシステムによって分類された場合は 1。 値は次のように設定されます。 IDocument.Is SystemClassified
	in_root_fold_pos_sys_clsf	int	4	ドキュメントが最後にシステムによって分類された時点で、ルート フォルダを基準して、最初のドキュメントからカウントしたドキュメントの番号。

## page\_dim

このテーブルには、個々のページの最新の既知のステータスが保持されます。このステータスは、ETL エージェントがバッチ終了イベントおよびページ関連のバッチ編集アクションを処理するときに更新されます。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	page_key	bigint	8	一意のキー
	page_id	nvarchar(255)	510	ページ ID (ナチュラル キー) IEdit 呼び出し内の IDocument.Id およびドキュメント ID パラメータから取得。
	original_page_id	nvarchar(255)	510	このページが外部システム (別の Kofax 製品) からのエクスポートによって生成されている場合、original_page_id は元のシステム内のページの ID に設定されます。 ページの存続期間が複数の製品にまたがる場合は、このフィールドを使用してページの履歴をトラッキングできます。
	doc_key	bigint	8	現在の所有者のドキュメント (ドキュメントに属していない場合は -1)。 doc_dim に対する外部キー
	batch_key	bigint	8	現在の所有者のバッチ (バッチに属していない場合は -1)。 batch_dim に対する外部キー

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	dt_last_proc_datetime	datetime	8	内部で使用
	last_proc_date_key	int	4	ページが最後に処理された日付。 date_dim に対する外部キー
	last_proc_time_key	int	4	ページが最後に処理された時刻。 time_dim に対する外部キー
	product_key	int	4	product_dim に対する外部キー
	dt_create_datetime	datetime	8	ページ作成日時 (このページが作成されたことを示す、ScanPage または CopyDocument の最初の呼び出し。)
	create_date_key	int	4	ページ作成日 date_dim に対する外部キー
	create_time_key	int	4	ページ作成時間 time_dim に対する外部キー
	initial_tsf_class_key	int	4	自動認識された KTM クラス 分類セッションの IDocument.TransformationClass tsf_class_dim に対する外部キー
	tsf_class_key	int	4	ドキュメントレビュー後の KTM クラス ドキュメントレビュー セッションの IDocument.TransformationClass。 tsf_class_dim に対する外部キー
	classified_date_key	int	4	最後の分類セッションバッチ終了イベントの日付。 date_dim に対する外部キー
	classified_time_key	int	4	最後の分類セッションバッチ終了イベントの時刻。 time_dim に対する外部キー
	dt_last_class_datetime	datetime	8	内部で使用
	reviewed_date_key	int	4	最後の KTM ドキュメント レビュー セッション バッチ終了イベントの日付。 date_dim に対する外部キー
	reviewed_time_key	int	4	最後の KTM ドキュメント レビュー セッション バッチ終了イベントの時刻。 time_dim に対する外部キー
	dt_last_review_datetime	datetime	8	内部で使用

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	review_user_key	int	4	最後の KTM ドキュメント レビュー セッションのユーザー。 user_dim に対する外部キー
	is_exported	bit	1	ページが完全にエクスポートされたバッチの一部であった場合は、エクスポート セッションの終了時に True に設定します。
	etl_job_key	int	4	内部で使用
	in_doc_position	int	4	ドキュメント内のページ番号。
	in_doc_position_sys_clsf	int	4	ドキュメントが最後にシステムによって分類された時点のドキュメント内のページ番号。
	doc_key_sys_clsf	Bigint	8	最後のシステム分類時の所有者のドキュメント。 doc_dim に対する外部キー



## ta\_categories\_dim

このテーブルは、TotalAgility カテゴリを定義します。カテゴリを参照する必要がある他のすべてのテーブルは、このテーブルを参照します。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	category_key	bigint	8	一意のキー
	category_id	nvarchar(255)	510	TotalAgility カテゴリ ID
	category_name	nvarchar(255)	510	カテゴリ名
	dt_last_change	datetime		最新のレコード変更時刻
	etl_job_key	int	4	内部で使用

## ta\_classif\_group\_dim




このテーブルは分類グループを定義します。分類グループを参照する必要がある他のすべてのテーブルは、このテーブルを参照します。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	classification_group_key	bigint	8	一意のキー
	classification_group_name	nvarchar(255)	510	グループ名
	classification_group_id	nvarchar(255)	510	グループ ID
	classification_group_version	nvarchar(255)	510	グループ バージョン
	classif_group_cat_key	bigint	8	カテゴリ キー ta_categories_dim に対する外部キー



アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	classification_group_id_vers	nvarchar(512)	1024	内部で使用
	dt_last_change	datetime		最新のレコード変更時刻
	etl_job_key	int	4	内部で使用

## field\_column\_dim


このテーブルには、すべての既知のテーブル フィールド列が保持されます。ETL エージェントは、インデックス フィールド情報を含むバッチ終了イベントを処理するときに、このテーブルを更新します。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	field_column_key	bigint	8	一意のキー
	field_column_name	nvarchar(255)	510	フィールド列の名前
	etl_job_key	int	4	内部で使用

## path\_dim

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	path_key	bigint	8	一意のキー
	root_folder_id	nchar(40)	80	ルート フォルダ ID (ナチュラル キー) IEdit 呼び出しの IRootFolder.Id パラメータから取得。
	full_path_wo_closest	nvarchar(1024)	2048	次の形式で表された、最も近いサブフォルダ以外のサブフォルダを含むフォルダの完全パス: ルート\サブフォルダ\サブサブフォルダ IEdit 呼び出しの IFolder.DisplayName パラメータから取得。
	path_closest_subfolder	nvarchar(255)	510	最も近いサブフォルダ名。 IEdit 呼び出しの IFolder.DisplayName パラメータから取得。
	dt_last_access	datetime	8	レポートで処理されているドキュメントが [path_dim] レコードに属している場合は、このレコードの [dt_last_access] が更新されます。

## event\_data\_dim

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	event_data_key	bigint	8	一意のキー
	event_param1	bigint	8	
	event_param2	bigint	8	
	event_param3	bigint	8	
	doc_sess_snapsh ot_key	bigint	8	doc_sess_snapshot_fact に対する外部キー

## 第2章

# ファクト テーブル

ファクト テーブルには、キャプチャに関連するアクションの情報が格納されます。たとえば、batch\_sess\_snapshot\_fact テーブルには、CEBPM アクティビティのファクトが格納されます。

ファクト テーブルには、ビジネス ファクト (または対策)、および通常はディメンション テーブルの主キーを参照する外部キーが含まれています。

## セッション スナップショット テーブル





セッション スナップショット テーブルには、個々のバッチ処理セッションまたはドキュメント処理セッションに関する情報が保持されています。

### batch\_sess\_snapshot\_fact

このテーブルには、IBatchSession.Close 呼び出しごとに 1 件のレコードが保持されます。


アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	batch_sess_snapshot_key	bigint	8	一意のキー
	batch_sess_id	nvarchar(255)	510	内部的に使用 (ステージング データベース テーブルの外部キー)
	mod_key	int	4	モジュール mod_dim に対する外部キー
	station_key	int	4	ステーション station_dim に対する外部キー
	user_key	int	4	ユーザー user_dim に対する外部キー
	batch_key	bigint	8	バッチ batch_dim に対する外部キー
	start_date_key	int	4	バッチ セッションの開始日 date_dim に対する外部キー
	start_time_key	int	4	バッチ セッションの開始時刻 time_dim に対する外部キー
	end_date_key	int	4	バッチ セッションの終了日 date_dim に対する外部キー



アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	end_time_key	int	4	バッチ セッションの終了時刻 time_dim に対する外部キー
	dt_end_datetime	datetime	8	バッチ セッション終了呼び出しの完全な日時。
	session_type	int	4	セッション タイプ これは、ISessionType から入力されたビットフィールドです。 1 = 認識 2 = 検証 4 = 分類 8 = KTM 補正 16 = KTM ドキュメント レビュー たとえば、値が 5 の場合は、このセッションが認識 (1) と分類 (4) を実行することを意味します。
	is_attended_sess	bit	1	有人セッションの場合は 1 ISessionType.IsAttended から取得
	batch_state	int	4	生成されたバッチ ステータス IBatchSession.Close の状態パラメータから取得
	sess_duration_sec	int	4	次の範囲内のセッション期間 (秒単位): • ISession.OpenBatch および IBatchSession.Close または • ISession.CreateBatch および IBatchSession.Close
	docs_created_num	int	4	このセッションで作成されたドキュメントの数。 この後の呼び出しの数: • IEdit.CopyDocument • IEdit.CreateDocument • IEdit.SplitDocument
	docs_deleted_num	int	4	このセッションで削除されたドキュメントの数。 この後の呼び出しの数: • IEdit.DeleteDocument • IEdit.MergeDocument



アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	docs_compl_num	int	4	このセッションで完了したドキュメントの数。 IBatchSession.Close 呼び出しで指定された IsCompleted = true に該当するドキュメントの数。
	pages_scanned_num	int	4	このセッションでスキャンされたページの数。 IEdit.ScanPage および IEdit.CopyPage 呼び出しの数、および IEdit.CopyDocument 呼び出しで指定された NewPages の数。
	pages_replaced_num	int	4	このセッションで置き換えられたページの数。 IEdit.ReplacePage 呼び出しの数。
	pages_deleted_num	int	4	このセッションで削除されたページの数。 IEdit.DeletePage 呼び出しの数、および IEdit.DeleteDocument 呼び出しで指定された DeletedPages の数。
	form_types_changed_num	int	4	このセッションでフォーム タイプが変更された回数。 IEdit.ChangeFormType 呼び出しの数。
	key_strok_num	int	4	このセッションで報告されたキーストロークの数。 IBatchSession.Close 呼び出しで指定された各ドキュメント内のキーストローク情報の概要を示します。 ドキュメントにフィールドレベルのキーストローク情報 (IField.KeyStrokes) が含まれている場合、ドキュメントレベルのキーストローク (IDocumentPerformance.KeyStrokes) は無視されます。 キーストロークはフィールド単位またはドキュメント単位で報告されますが、両方のレベルで報告されることはない想定されています。
	conf_classes_changed_num	int	4	このセッションで変更された、信頼できる KTM クラスの数。 IEdit.ChangeConfidentClass 呼び出しの数。
	sugg_classes_accepted_num	int	4	このセッションで受け入れられた推奨 KTM クラスの数。 IEdit.AcceptSuggestedClass 呼び出しの数。




アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	sugg_classes_changed_num	int	4	このセッションで変更された推奨 KTM クラスの数。 IEdit.ChangeSuggestedClass 呼び出しの数。
	corr_split_points_num	int	4	正しい分割ポイントの数。 IBatchSession.EndDocumentReview 呼び出しの ISeparation.CorrectSplits の数。
	wrong_split_points_num	int	4	誤った分割ポイントの数。 IBatchSession.EndDocumentReview 呼び出しの ISeparation.WrongSplits の数。
	missed_split_points_num	int	4	失われた分割ポイントの数。 IBatchSession.EndDocumentReview 呼び出しの ISeparation.MissingSplits の数。
	folders_split_num	int	4	使用されていない
	folders_merged_num	int	4	使用されていない
	folders_create_num	int	4	使用されていない
	folders_delete_num	int	4	使用されていない
	docs_unclassified_num	int	4	未分類ドキュメントの数。 IBatchSession.StartDocumentReview 呼び出しの IRules.DocumentsUnclassified の数。
	batch_rule_failure_num	int	4	バッチ ルール エラーの数。 IBatchSession.StartDocumentReview 呼び出しの IRules.BatchRuleFailures の数。
	batch_rule_problem_num	int	4	バッチ ルール問題の数。 IBatchSession.StartDocumentReview 呼び出しの IRules.BatchRuleProblems の数。
	doc_rule_failure_num	int	4	ドキュメント ルール エラーの数。 IBatchSession.StartDocumentReview 呼び出しの IRules.DocumentRuleFailures の数。
	doc_rule_problem_num	int	4	ドキュメント ルール問題の数。 IBatchSession.StartDocumentReview 呼び出しの IRules.DocumentRuleProblems の数。
	folder_rule_failure_num	int	4	フォルダ ルール エラーの数。 IBatchSession.StartDocumentReview 呼び出しの IRules.FolderRuleFailures の数。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	folder_rule_problem_num	int	4	フォルダ ルール問題の数。 IBatchSession.StartDocumentReview 呼び出しの IRules.FolderRuleProblems の数。
	docs_num	int	4	IBatchSession.Close 呼び出しで指定されたドキュメントの数。
	pages_num	int	4	IBatchSession.Close 呼び出しで指定されたページの総数。
	ms_in_class_sep	int	4	このセッション中に分類または分割に費やされたミリ秒数 (IBatchSession.TimeInClassSep) KTM モジュールにのみ適用されます。
	pages_added_num	int	4	このセッションで追加されたページの数。 ページに対して、スキャン、コピー、または別のバッチからの移動が実行された可能性があります。
	docs_added_num	int	4	このセッションで追加されたドキュメントの数。 ページに対して、スキャン、コピー、または別のバッチからの移動が実行された可能性があります。
	ta_job_id	binary(16)	16	TotalAgility ジョブ ID
	ta_classification_group_key	int	4	ta_classification_groups テーブルを参照します。
	etl_job_key	int	4	内部で使用

## doc\_sess\_snapshot\_fact

このテーブルには、IBatchSession.Close で指定されたドキュメントごとに 1 件のレコードが保持されます。このセッション用のドキュメント単位のカウンターが含まれています。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	doc_sess_snapshot_key	bigint	8	一意のキー
	batch_sess_snapshot_key	bigint	8	batch_sess_snapshot_fact に対する外部キー
	mod_key	int	4	モジュール mod_dim に対する外部キー
	station_key	int	4	ステーション station_dim に対する外部キー
	user_key	int	4	ユーザー user_dim に対する外部キー
	batch_key	bigint	8	バッチ情報 batch_dim に対する外部キー

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	doc_key	bigint	8	ドキュメント情報 doc_dim に対する外部キー
	end_date_key	int	4	IBatchSession.Close が呼び出された 日付。
	end_time_key	int	4	IBatchSession.Close が呼び出された 時刻。
	dt_end_datetime	datetime	8	内部で使用
	session_type	int	4	セッション タイ プ。batch_sess_snapshot_fact テーブル の session_type を参照してください。
	key_strok_num	int	4	このドキュメントについて、フィールド 単位またはドキュメント単位で報告される キーストロークの数 (両方のレベルでは報 告されません)。 ドキュメントにフィールドレベルのキー ストローク情報 (IField.KeyStrokes) が含まれている場合、ドキュ メントレベルのキーストローク (IDocumentPerformance. KeyStrokes) は無視されます。
	ms_in_ocr	int	4	OCR に費やされたミリ秒 数。IDocumentPerformance.TimeInOcr
	ms_in_extr	int	4	抽出に費やされたミリ秒 数。IDocumentPerformance. TimeInExtraction
	ms_in_class	int	4	分類に費やされたミリ秒 数。IDocumentPerformance. TimeInClassification
	doc_sess_duration_ms	int	4	このドキュメントの処理 に費やされた合計ミリ秒 数。IDocumentPerformance.TimeSpent
	is_confly_classified	bit	1	分類セッションおよびドキュメントが 信頼できる方法で分類された場合は 1。IDocument.IsConfident
	class_confidence_perc	int	4	パーセントで表した分類の 信頼度 (分類セッション内の み)。IDocument.Confidence
	page_num	int	4	IDocument.Pages リストの要素の数。
	field_num	int	4	フィールドレベル情報を提供するモジュー ル専用。 IDocument.Fields リストの要素の数。
	etl_job_key	int	4	内部で使用


## 累積ファクト テーブル

累積ファクト テーブルには、単一のバッチ、ドキュメント、またはフィールドに関する情報が蓄積されます。また、いくつかのモジュール セッションのカウンターが集計されます。

### batch\_accum\_fact

このテーブルには、バッチの存続期間中に集計されたバッチレベルのカウンターが保持され、バッチの batch\_session\_snapshot\_fact エントリが示されています。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	batch_accum_key	bigint	8	一意のキー
	batch_key	bigint	8	バッチ情報 batch_dim に対する外部キー
	docs_num	int	4	最後の IBatchSession.Close 呼び出しのドキュメント数。
	pages_num	int	4	最後の IBatchSession.Close 呼び出しのページ数。
	end_to_end_sec_num	int	4	バッチ作成から最後のバッチ終了呼び出しまでの秒数。
	processing_sec_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact テーブルの sess_duration_sec を集計します。
	docs_created_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact テーブルの情報を集計します。
	docs_deleted_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact テーブルの情報を集計します。
	docs_compl_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact テーブルの情報を集計します。
	pages_scanned_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact テーブルの情報を集計します。
	pages_replaced_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact テーブルの情報を集計します。
	pages_deleted_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact テーブルの情報を集計します。
	form_types_changed_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact テーブルの情報を集計します。
	key_strok_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact テーブルの情報を集計します。
	conf_classes_changed_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact テーブルの情報を集計します。
	sugg_classes_accepted_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact テーブルの情報を集計します。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	sugg_classes_changed_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact テーブルの情報を集計します。
	corr_split_points_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact テーブルの情報を集計します。
	wrong_split_points_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact テーブルの情報を集計します。
	missed_split_points_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact テーブルの情報を集計します。
	folders_split_num	int	4	使用されていない
	folders_merged_num	int	4	使用されていない
	folders_created_num	int	4	使用されていない
	folders_deleted_num	int	4	使用されていない
	docs_unclassified_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact テーブルの情報を集計します。
	batch_rule_failure_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact テーブルの情報を集計します。
	batch_rule_problem_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact テーブルの情報を集計します。
	doc_rule_failure_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact テーブルの情報を集計します。
	doc_rule_problem_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact テーブルの情報を集計します。
	folder_rule_failure_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact テーブルの情報を集計します。
	folder_rule_problem_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact テーブルの情報を集計します。
	etl_job_key	int	4	内部で使用

## doc\_accum\_fact

このテーブルには、ドキュメントの存続期間中に集計されたドキュメントレベルのカウンターが保持され、ドキュメントの doc\_session\_snapshot\_fact エントリが示されています。










アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	doc_accum_key	bigint	8	一意のキー
	batch_key	bigint	8	バッチ情報 batch_dim に対する外部キー
	doc_key	bigint	8	ドキュメント情報 doc_dim に対する外部キー
	ms_in_ocr	int	4	doc_sess_snapshot_fact の情報を集計します。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	ms_in_extr	int	4	doc_sess_snapshot_fact の情報を集計します。
	ms_in_class	int	4	doc_sess_snapshot_fact の情報を集計します。
	key_strok_num	int	4	doc_sess_snapshot_fact の情報を集計します。
	page_num	int	4	最後の doc_sess_snapshot_fact レコードの page_num。
	field_num	int	4	最後の doc_sess_snapshot_fact レコードの field_num。
	is_confly_classified	bit	1	doc_sess_snapshot_fact の最後の分類セッションのレコード。
	class_confidence_per c	int	4	doc_sess_snapshot_fact の最後の分類セッションのレコード。
	etl_job_key	int	4	内部で使用




## field\_accum\_fact

このテーブルには、ドキュメント内の単一インデックス フィールドに関する要約情報が保持されます。ドキュメント ID、フィールド名、行番号の組み合わせが一意のキーになります。

構成可能な時間が経過すると、ETL エージェントはこのテーブルから古いエントリを削除します。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	field_accum_key	bigint	8	一意のキー
	batch_key	bigint	8	バッチ情報 batch_dim に対する外部キー
	doc_key	bigint	8	ドキュメント情報 doc_dim に対する外部キー
	field_key	int	4	フィールド名 field_dim に対する外部キー
	field_column_key	bigint	8	テーブル フィールドの field_column_dim に対する外部 キー。テーブル以外のフィールドの場合 は -1。
	group_value_key	int	4	グループの値 group_value_dim に対する外部キー
	dt_last_recog	datetime	8	最後の認識セッションの時間。
	dt_last_valid	datetime	8	最後の検証セッションの時間。
	dt_last_correc	datetime	8	最後の修正セッションの時間。
	dt_last_review	datetime	8	最後のドキュメント レビュー セッション の時間。



アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	dt_last_class	datetime	8	最後の分類セッションの時間。
	dt_last_sess	datetime	8	最後の IBatchSession.Close の時間と、このフィールドに関する情報。
	field_tbl_index	int	4	テーブルのインデックス (これがテーブルフィールドの場合) IField.RowId
	field_recog_status_key	int	4	<p>フィールド認識ステータス このフィールドは 5 に初期化されています。<u>検証セッション</u>では、この値は、IField.IsValid と IField.IsChanged に従って設定されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>IField.IsValid が True の場合、フィールドは有効です。</li> <li>IField.IsChanged が False の場合、フィールドは適切です。</li> </ul> <p>field_recog_status_dim に対する外部キー</p>
	key_strok_num	int	4	<p>このフィールドに対する合計キーストローク数 このフィールドの IField.KeyStrokes の合計</p>
	conf_corr_chars_num	int	4	使用されていません。
	conf_incorr_chars_num	int	4	使用されていません。
	unconf_corr_chars_num	int	4	使用されていません。
	unconf_incorr_chars_num	int	4	使用されていません。
	field_value	nvarchar(1024)	2048	現在のフィールド値。 このフィールドの最後の IField.Value。
	original_value	nvarchar(1024)	2048	自動的に認識されるフィールド値。 最後の認識セッションの IField.Value。
	field_confidence_perc	int	4	フィールド認識の信頼度。 最後の認識セッションの IField.Confidence
	chars_recognized_num	int	4	自動的に認識された文字の数。 Length of original_value
	conf_chars_num	int	4	使用されていません。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	chars_validated_num	int	4	検証セッション後の文字数。 最後の検証セッションの IField.Value の長さ。
	is_deleted	bit		テーブル フィールドの行のフィールドが削除されたかどうかを示します。
	etl_job_key	int	4	内部で使用
	is_sys_extracted	bit	1	ドキュメントがシステムによって分類された場合は 1。 値は、既存の値と IField.IsSystemExtracted の値を ビット AND 演算子で連結した値に設定されます。
	extr_batch_sess_key	int	4	最後の抽出バッチ セッション キー。 batch_sess_snapshot_fact に対する外部キー
	extr_manual_sessions_key	int	4	ファイルが手動で変更された、最後のバッチ セッション キー。 batch_sess_snapshot_fact に対する外部キー

## その他のファクト テーブル

### batch\_field\_fact

このテーブルにはバッチ フィールド情報が含まれていて、IBatchSession.Close の時点で更新されます。バッチ、バッチ フィールド名、バッチ フィールド値の組み合わせごとに 1 件のレコードが保持されます。



アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	batch_field_key	bigint	8	一意のキー
	batch_key	bigint	8	バッチ情報 batch_dim に対する外部キー
	field_key	int	4	バッチ フィールドの名前 field_dim に対する外部キー
	field_value	nvarchar(1024)	2048	バッチ フィールドの値 IBatchField.Value
	etl_job_key	int	4	内部で使用

## object\_audit\_fact

このテーブルには、API によって内部的に作成されたバッチレベルのアクション (バッチ作成、バッチ削除、バッチ エクスポート、バッチ オープン、バッチ 終了) や IEdit インターフェイスの明示的な呼び出しなどのバッチ編集情報が含まれています。







監査された個々のイベントごとに、1 件のレコードがあります。既存のレコードは更新されません。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	object_audit_key	bigint	8	一意の内部キー
	batch_key	bigint	8	バッチ情報 batch_dim に対する外部キー バッチが含まれていない場合は -1 になることがあります
	folder_key	bigint	8	使用されていない
	doc_key	bigint	8	ドキュメント情報 doc_dim に対する外部キー ドキュメントが含まれていない場合は -1 になることがあります
	page_key	bigint	8	ページ情報 page_dim に対する外部キー ページが含まれていない場合は -1 になることがあります
	date_key	int	4	イベントの日付 date_dim に対する外部キー
	time_key	int	4	イベントの時刻 time_dim に対する外部キー
	user_key	int	4	ユーザー user_dim に対する外部キー
	mod_key	int	4	モジュール mod_dim に対する外部キー
	station_key	int	4	ステーション station_dim に対する外部キー
	machine_key	int	4	マシン machine_dim に対する外部キー
	object_action_key	int	4	アクション タイプ object_action_dim に対する外部キー
	reject_note_key	int	4	拒否メモ (拒否アクションがない場合は -1) reject_note_dim に対する外部キー
	export_mod_key	int	4	エクスポート コネクタ (または -1) mod_dim に対する外部キー

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	is_interactive	bit	1	インタラクティブ アクション IEdit.IsInteractive の場合は 1
	sequence_num	int	4	セッション内のアクションの連番
	comments	nvarchar(255)	510	イベント コメント
	etl_job_key	int	4	内部で使用
	event_data_key	uniqueidentifier	16	追加のイベント データ event_data_dim に対する外部キー

## field\_changes\_fact

このテーブルには、フィールドで手動で行われたすべての変更が含まれています。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	field_change_key	bigint	8	一意のキー
	field_key	bigint	8	フィールドを参照する [field_dim] エントリのキー。
	field_column_key	bigint	8	テーブル フィールド内の列を表す [field_column_dim] エントリのキー。
	field_tbl_index	int	4	テーブル フィールドの行数。
	object_audit_key	bigint	8	手動のフィールド変更イベントを表す [object_audit_fact] テーブル エントリのキー (この [object_action_key] 値は 60001 と同じです)。
	doc_sess_snapshot_key	bigint	8	ドキュメント セッションのキー。IEdit 呼び出し内の IDocument.Id パラメータおよび SessionId パラメータから計算。
	field_new_value	nvarchar(1024)	2048	変更とともに割り当てられた、フィールドの新しい値の文字列表現。
	field_old_value	nvarchar(1024)	2048	変更によって新規に割り当てられる前に存在していた、フィールドの古い値に対する文字列表現。
	etl_job_key	int	4	内部で使用